

模倣品・海賊版対策について

平成27年4月27日

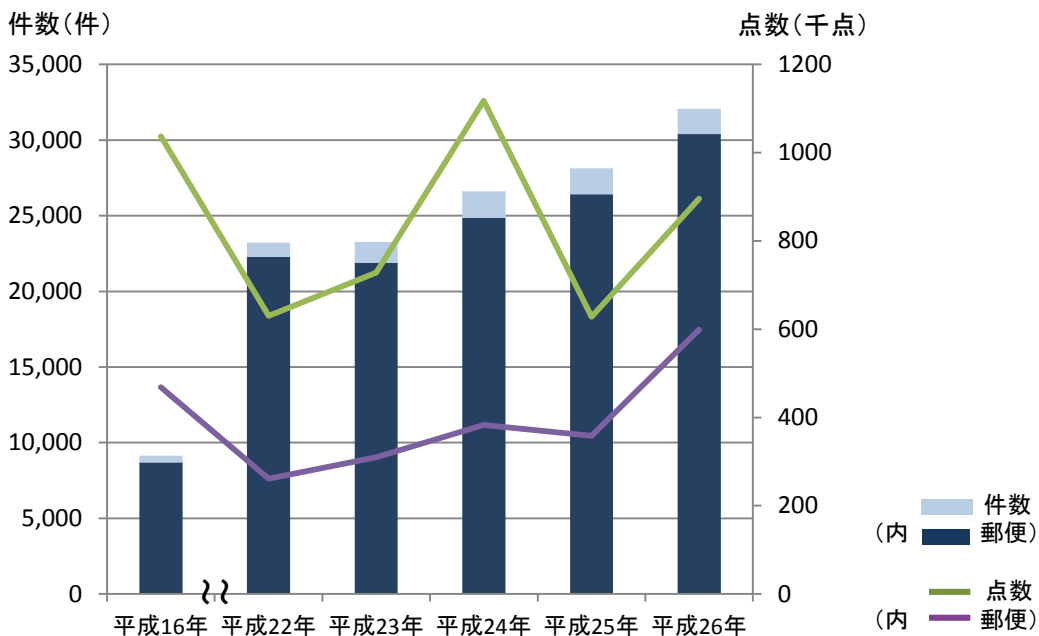
財務省関税局

業務課知的財産調査室

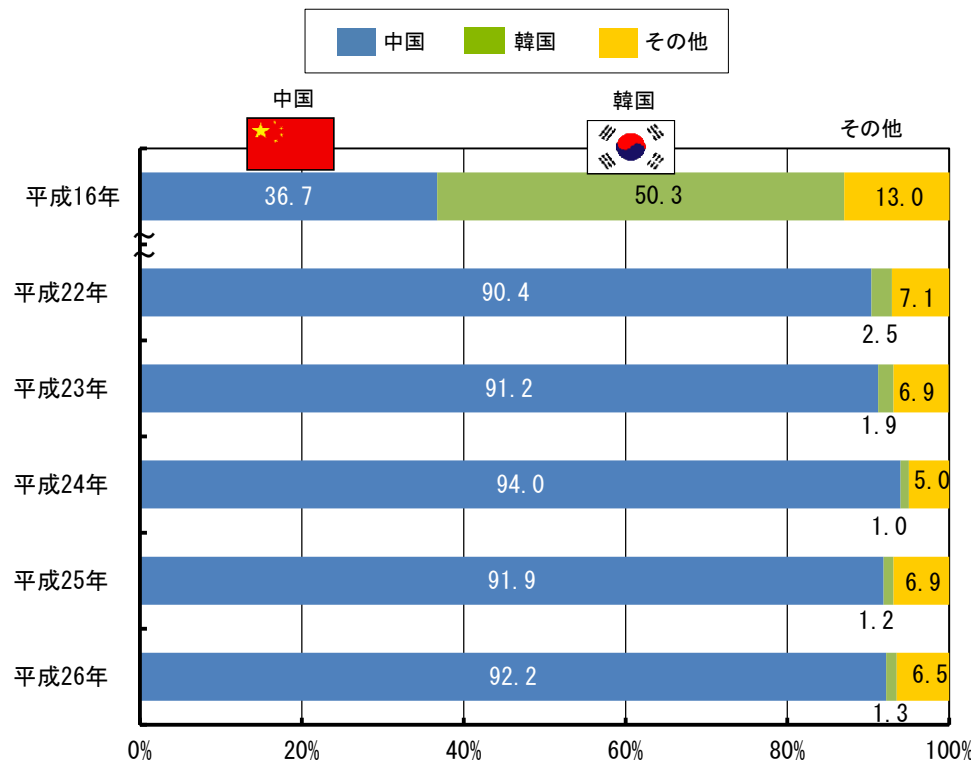
平成26年の税関における知的財産侵害物品の差止状況

- 知的財産侵害物品の輸入差止件数は32,060件で過去最多を記録。点数は895,792点。
- 中国からの知的財産侵害物品が引き続き9割超(5年連続)。
- 輸送手段としては、郵便の占める件数の割合が大半。

＜知的財産侵害物品の輸入差止実績＞



＜仕出国(地域)別の輸入差止件数構成比の推移＞



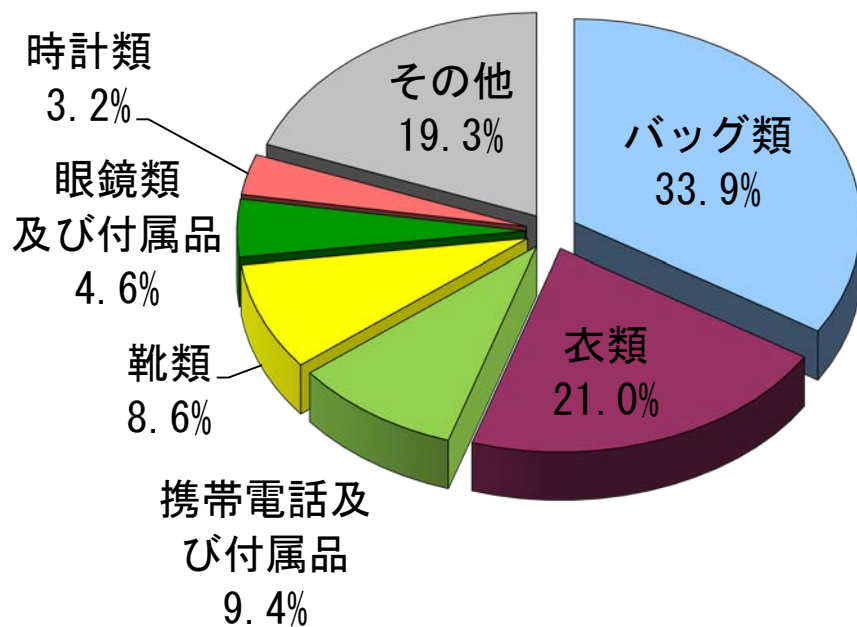
(参考) 知的財産侵害物品

特許権(発明)、実用新案権(考案)、意匠権(形状等のデザイン)、商標権(ブランドのロゴマーク等)、著作権・著作隣接権(映画、音楽等)、育成者権(植物品種)、回路配置利用権(回路素子と導線のレイアウト)を侵害する物品及び不正競争防止法違反物品(形態模倣品等)

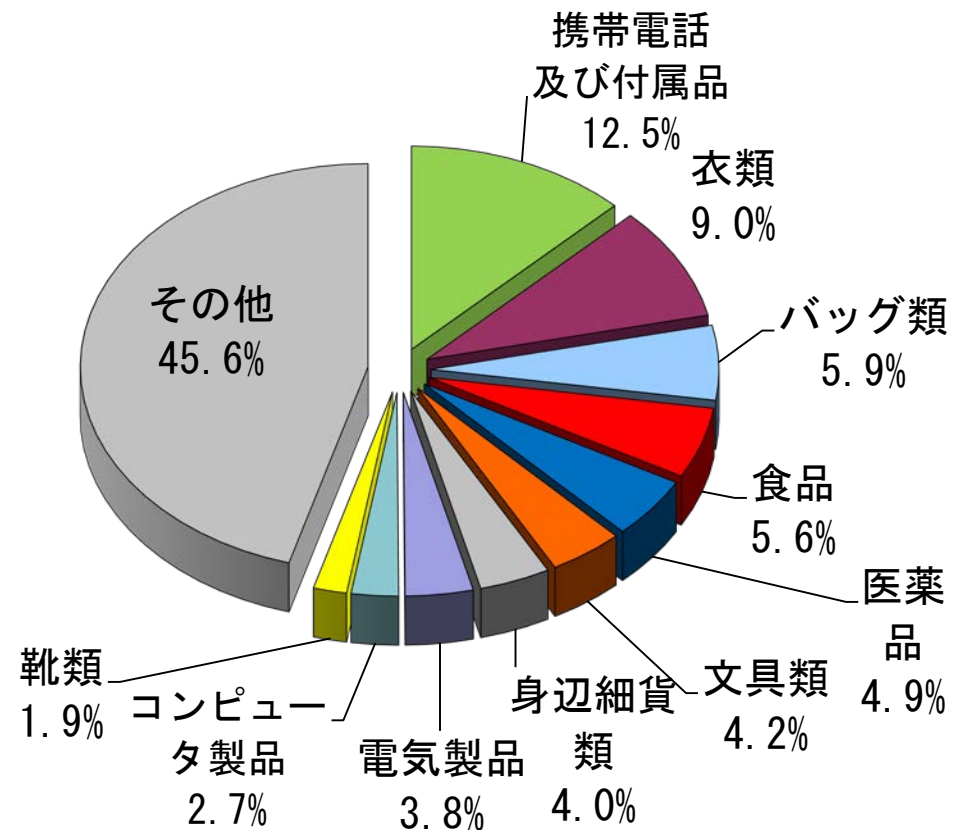
平成26年の税関における知的財産侵害物品の差止状況

<品目別構成>

件数



点数



税関で輸入を差し止めた侵害物品の例

- 照明器具などの電気製品、ピアスなどの身近細貨類などの差し止めが増加
- 消費者の健康や安全を脅かす危険性のある物品が増加基調

平成26年に輸入差止点数が増加した物品



照明器具(意匠権)



ピアス(商標権)



家庭用ゲーム機コントローラー
(意匠権)



スマートフォンケース
(著作権)

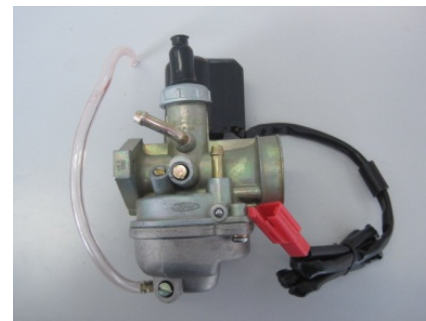
健康や安全を脅かす危険性がある物品



医薬品(商標権)



バッテリー(商標権)



バイク用キャブレター(商標権)



抱っこひも(商標権)

財務省・税関における取組み

- 模倣品・海賊版の水際取締りの強化
 - 集中取締りの実施
 - 権利者等からの情報提供に基づく積極的な水際取締りの実施
 - 税関職員への知的財産侵害物品を識別するための研修(真贋識別研修)の充実
 - 水際取締りに係る権利者等の利便性向上
(平成27年度関税改正:輸出入差止申立て有効期間の延長、提出書面の電子化)

- 知的財産の権利者との一層の連携
 - 権利者向け説明会の開催、権利者等団体との連携強化

- ニセモノ購入を容認しない国民意識の更なる醸成
 - 国民の意識啓発を促進するための広報活動

- 途上国・振興国のニーズや制度の整備状況を踏まえた、水際取締りに係る人材育成
 - 国際機関(世界税関機構)等と協力した外国税関に対する技術協力の実施